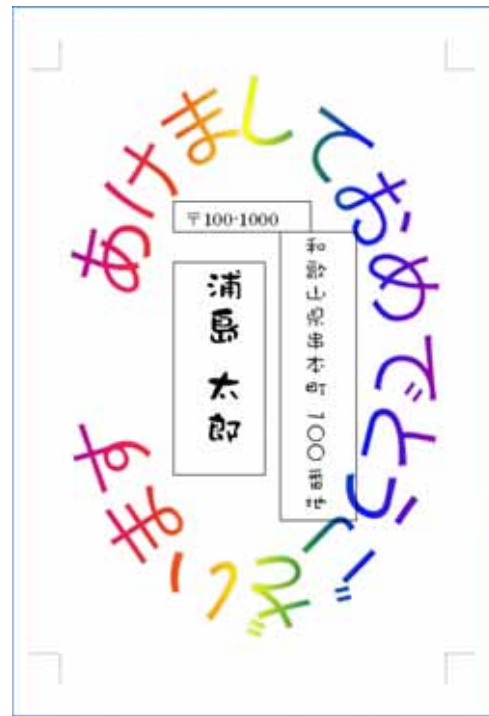


### 13. テキストボックスの使用例

横書きの文書や縦書きの文が混在する文書や画像が入った説明など、たとえば年賀状やチラシなどに使えば文字のレイアウトが自由にできて便利です。

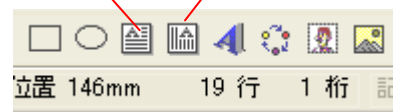
右図が使用例です。  
テキストボックスとワードアートを使っています。



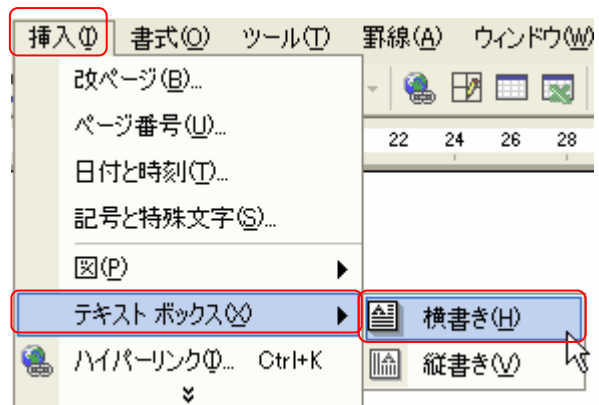
#### 13.1 テキストボックスの使用方法

A. 図形描画ツールバーの[テキストボックス]または[縦書きテキストボックス]を選択します。

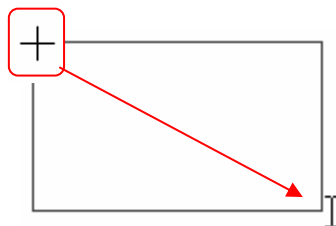
テキストボックス      縦書きテキストボックス



B. メニューバーの[挿入] [テキストボックス]から[横書き]または[縦書き]を選択します。

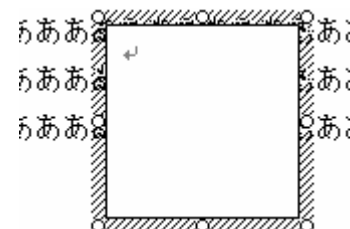


#### 13.2 テキストボックスの挿入



[テキストボックス]ボタンをクリックします。文書内にマウスポインタを動かすと、ポインタが十字になります。適当な大きさになるようにマウスをドラッグするとテキストボックスが挿入されます。

(注)テキストボックスをクリックした状態で文書内をクリックすると基本形状で挿入されます。(右側の図を参照)



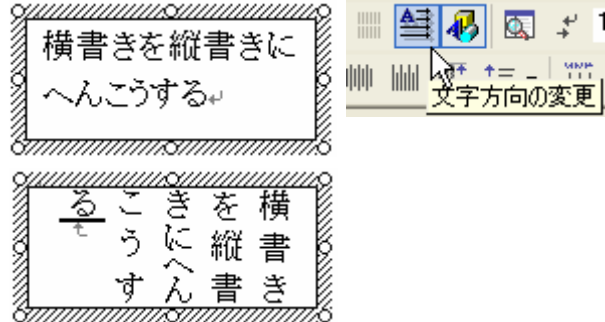
### 13.3 文字の入力

13.2項からマウスを離すと、テキストボックス内にカーソルが表示された状態になり キーボードから文字が入力できます。



### 13.4 横書きを縦書きに変更する

テキストボックス内にカーソルを持って  
くる、または文を選択します。  
ツールバーの[文字方向の変更]ボタ  
ンをクリックします。

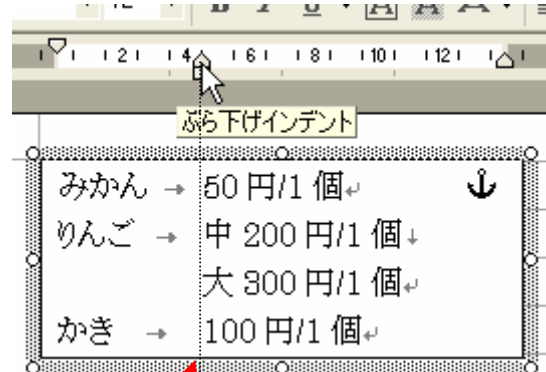


縦書きになりました。

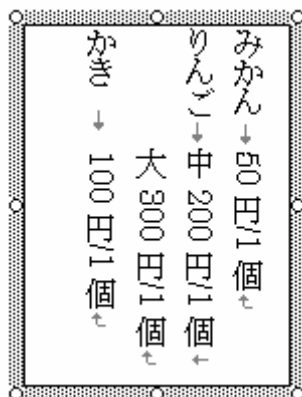
### 13.5 テキストボックス内でのインデント

横書きのテキストボックスでは、インデントやタブ揃えが使用できます。

(例) りんごの2行目の頭位置をインデ  
ントで揃えています。りんごの1行目は  
[Shift]+[Enter]キーで改行しています。(タ  
ブ揃えでも同じ結果が得られます)



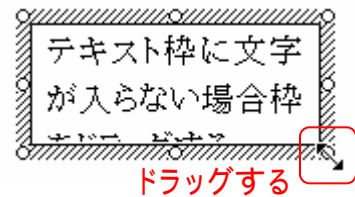
これを縦書きに変更すると下記のようにな  
ります(テキスト枠は調整しています)



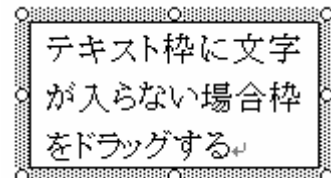
テキストボックスを選択状態にし  
て、ぶら下げインデントを移動さ  
せると Tab 以降の文字が移動す  
る

### 13.6 文字が入りきらない場合

テキストボックスが小さいと、文字が表示しきれない場合、ハンドルにマウスポインタを合わせて、ドラッグし、テキスト枠を拡大して、文字が入る大きさにします。



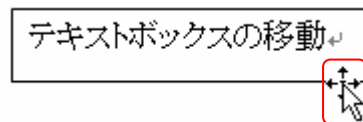
これで文字がすべて表示されました。



### 13.7 テキストボックスの移動

テキストボックスの枠部分にマウスポインタをポイントする(重ねると十字矢印と白矢印)に変わります。

この状態のまま、マウスをドラッグすると移動できます

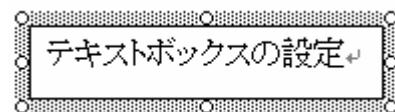


(注)テキストボックスの内部では、マウスポインタの形状が[ I ]になり移動はできません。

(注)微調整したい場合は、[Alt]キーを押しながらドラッグします。

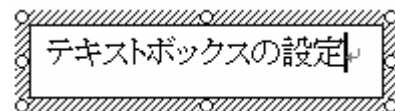
### 13.8 テキストボックスの書式設定

テキストボックスの枠部分をクリックすると、周囲が細かい点状に囲まれます。これがテキストボックスが選択された状態です。



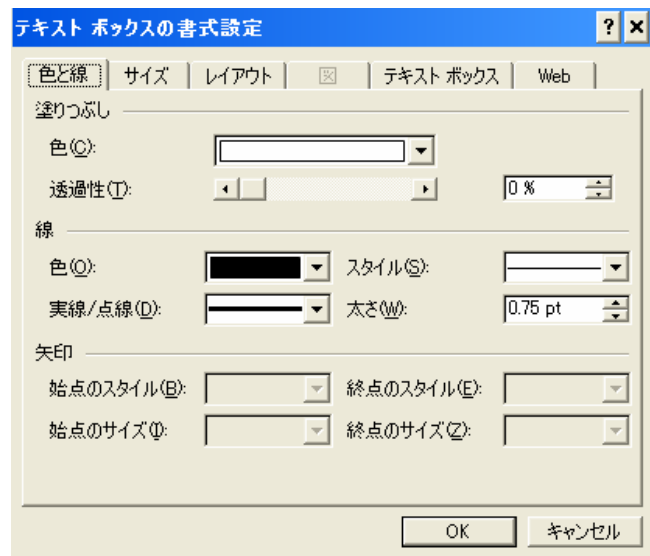
(注) テキストボックスの枠内をクリックすると横の図のように周囲の図柄が斜線で囲まれています。文字が入力できる編集可能な状態です。

テキストボックスの選択状態ではありません



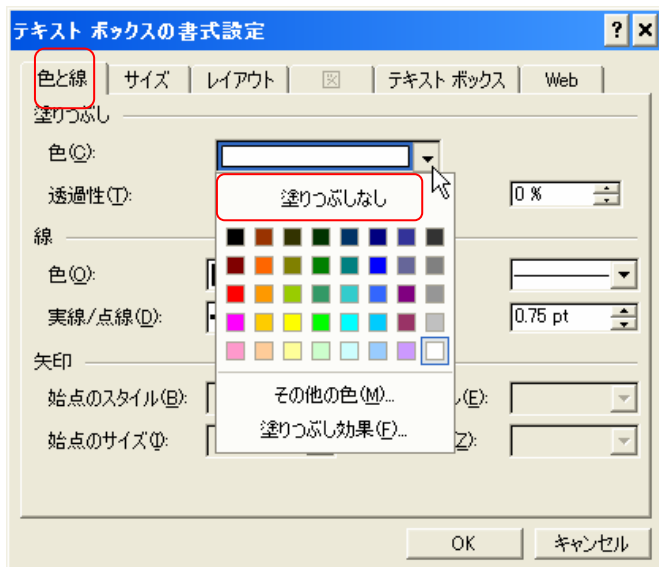
メニューバーの[書式]→[テキストボックス]を選択します。  
[テキストボックスの書式設定]のダイアログが表示されます。

(注)テキストボックスの枠にカーソル移動し十字の矢印が出たところでダブルクリックしても同じことができます。  
または、上記と同じにして十字矢印が出たところで右クリックして、出てきたメニューから[テキストボックスの書式設定]を選んで同じです。



### 13.8.1 色と線の設定 塗りつぶし効果

テキストボックスを選択し、メニューバーの[書式]→[テキストボックス]を選択します。  
[テキストボックスの書式設定]ダイアログの[色と線]タブを選択します。  
[色]の 印を押すと色の選択画面が出ます。この[塗りつぶしなし]は透明な紙にするという意味です。図などと重ねるときに使います。



塗りつぶしは色の他に[塗りつぶし効果]の設定がありここではグラデーションやテクスチャを使ってより効果きな表現ができます。

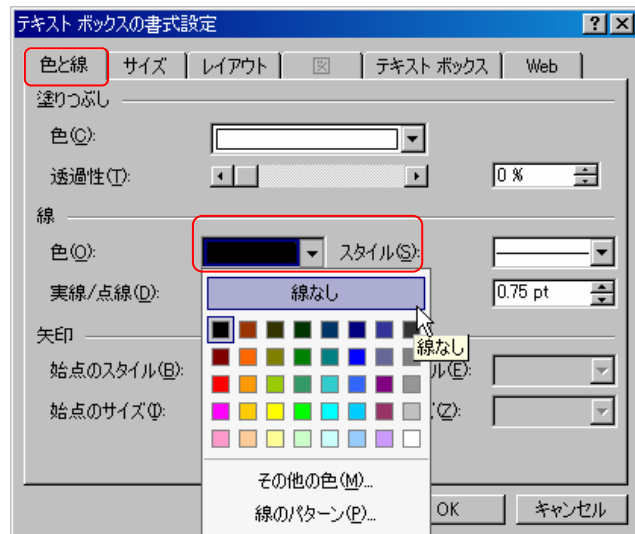


図とテキストボックスを重ねた例です。  
色を[塗りつぶしなし]に設定しています。

### 13.8.2 線の設定

テキストボックスを選択し、メニューバーの[書式]→[テキストボックス]を選択します。  
[テキストボックスの書式設定]ダイアログの[色と線]タブを選択します。

[線]の[色]で[線なし]を選ぶと、枠線を消すことができます。



[線なし]を追加設定した例です。



右図のように図形描画のツールバーで[線の色]を選んで[線なし]を選択しても同じです。



### 13.8.3 レイアウトの設定

図やほかのテキストボックスなどと重ねたいとき、思うように重なってくれない(動かない)ときがあります。そのような時は、[レイアウト]の[折り返しの種類と配置]を変えてみます。

[行内]は文字列の行内に、[四角]はテキストボックスを四角にくりぬいたようになります。重ねるときは、背面や、前面を使います。

